

2023年度 新春学習会

人道危機において、国際機関が宗教者に期待すること



開催日時

2024年1月25日（木）15:00-17:30



参加形式

オンライン

ZOOMミーティング



講師プロフィール

榛澤 祥子

HANZAWA Shoko 赤十字国際委員会（ICRC）駐日代表

米国コロンビア大学で国際関係学の修士号を取得。2019年にICRCに入り、駐日代表部の人道調整顧問として政府をはじめ関係当局との協力を強化。中立・公平・独立の人道の諸原則に基づいたICRCの活動や、国際人道法の普及に努める。2023年6月にICRC駐日代表に就任、日本人女性初の駐日代表となる。ICRC以前は、外務省や国連難民高等弁務官事務所、国境なき医師団に勤務するなど、10年以上人道支援の分野に携わっている。アフガニスタン、イスラエル・パレスチナ、ミャンマーなどにも赴任。

伊藤 礼樹

ITO Ayaki 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐日代表

米国コロンビア大学国際公共政策大学院で国際関係学修士課程（国際人権法専攻）を修了後、国連ボランティア（UNV）としてボスニア・ヘルツェゴビナに派遣される。日本政府のJPO（Junior Professional Officer）制度を通じてUNHCRミャンマーに赴任し、その後、ルワンダ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルメニア、スーダン、レバノン、ソマリアなどで難民保護の業務に従事。UNHCR本部（スイス・ジュネーブ）では、国際保護総局保護官、アジア太平洋地域局次長を務める。UNHCRシリア代表、UNHCRレバノン代表を経て、2023年1月からUNHCR駐日代表に就任。

お問い合わせ



03-3384-2337



<https://www.wcrp.or.jp>



rfpj-info@wcrp.or.jp

趣旨

先行きが見えないウクライナ情勢、争いが激化するイスラエル・パレスチナ武装勢力間の対立、さらにはアフガニスタン、ミャンマー、シリアなど各地で多発する武力衝突は、多くの犠牲者を生み出し、人々に深い悲しみと苦しみを与えています。罪のない人々にむごたらしい暴力がふるわれ、かけがえのない命が奪われています。かろうじて生き残った人々も家を奪われ、生きるに過酷な環境の中での生活を余儀なくされ、また暴力を目の当たりにした子どもたちは心身に深い傷を負っております。

こうした人道危機に対し、国際社会では様々な外交努力や支援活動が懸命に実施され、その中で宗教者・宗教団体も紛争和解や被害者支援などを実施しております。

こうした宗教者の取り組みは、どのような意義があり、課題があるのか？そして、これからの人道危機の時代において果たすべき役割とは何か？

この度の学習会では、こうした宗教者の可能性について、人道危機に実践的に対応している国際機関からの期待と提言を頂く中で展望していきます。今、多くの国際機関は、平和構築における宗教者の活動に注目し、国際機関と宗教者のパートナーシップの構築を急いでおります。国際機関からの呼びかけに宗教者はどう応答するのか、この度の学習会で探究していきたいと思っております。

プログラム ※敬称略

15: 00	開会
15: 15	講演 榛澤祥子（赤十字国際委員会 [ICRC] 駐日代表） 伊藤礼樹（国連難民高等弁務官事務所 [UNHCR] 駐日事務所代表）
16: 15	休憩
16: 25	ディスカッション 宗教者3名 榛澤祥子 伊藤礼樹
17: 30	終了

オンライン参加 申込方法は2つ！

参加をご希望の方は、①URL、②QRコードのいずれかアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。
※後日ZOOMリンクをお送りします。

①URLをクリックして申込み

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfF3VwPwwAS_DbsDGsLI5_pyoUb-ducIztqWAVYymHyGdOH8xg/viewform

②QRコードを読み取って申込み



※新春学習会の会場参加は招待制となっております。招待状（郵送での案内）がない場合には、恐れ入りますがオンラインでご参加ください。オンラインではどなたでもご視聴できます。